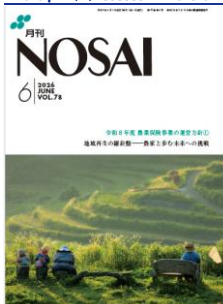


★食・農業・環境・地域づくりの現場から活力ある取組をレポートしています。  
「農と食で高める地域の力」「月刊NOSAI」(全国農業共済協会)  
10ページで特集。連載は59回目を迎えました。2026年6月号(6月1日発売)  
[http://www.nosai.or.jp/nosai\\_kasou/syuppan.html](http://www.nosai.or.jp/nosai_kasou/syuppan.html)



「創り手の顔が見える酒造りと経営哲学 鳥取県琴浦町・大谷酒造株式会社」  
大山山麓の豊かな自然、冬の寒風、雪解け水を含んだ土地柄が酒造りに適している。原材料は「山田錦」を基本に「玉栄」、鳥取県独自の酒造好適米「強力」等を使用。自家精米から酒造りまで一貫して行い、「創り手の顔が見える辛口」にこだわって造り続けている。創業は、明治5年(1872年)。30種類以上の銘柄を展開している。全従業員13人のうち7人が女性という革新的な変化を遂げた。製造現場である蔵においても3人の女性が男性と肩を並べ、力仕事もこなしている。人材育成にも力を注いでおり、若手蔵人が設計から仕込みまで一本のタンクを責任持って担当する「責任仕込み」制度を導入。

<https://takaisami.co.jp/>



●これまでのバックナンバー <https://x.gd/bxeil>

総務省地域力創造アドバイザー/内閣官房地域活性化伝道師

農林水産省・地産地消コーディネーター

一般財団法人地域活性化センター シニアフェロー

発酵文化推進機構特別研究員 高知県観光特使

金丸弘美(食環境ジャーナリスト・食総合プロデューサー)

●140-0003 東京都品川区八潮5丁目6-37-205

メールアドレス [kanamaru.hiromi@cameo.plala.or.jp](mailto:kanamaru.hiromi@cameo.plala.or.jp) 携帯 090-3688-2245



◎ホームページ(活動詳細とWEB配信を見ることができます)

◎ホームページ <https://x.gd/6Vz5m>

★食の雑誌「味の味」(アイディア)偶数隔月でエッセイ「地食が面白い」を連載中

115回となりました。2026年6月号。

「地食が面白いー倉吉市の一年、食がつかないだもの」

鳥取県倉吉市で、地域の食材を使った食のワークショップを一年にわたり手掛けていただいた。食のブランドに繋ぐ取り組みで料理家・馬場香織さんを推薦。地元の方の参加型で四季に合わせて4回開催。扱われたテーマ食材は、実に多彩だ。

2025年3月「猪肉・ねばりっこ・砂丘ながいも」。2025年7月「スイカ・鹿肉・葉わさび」

2025年10月「梨・和牛」。2026年3月「サツマイモ・酒粕・米粉」一年で生まれた料理は、実に64品目にもなった。

「味の味」はホームページ掲載の有名飲食店に置いてあります。お店に行かれたら、手にとってください。

<http://www.ajinoaji.com/>



「味の味」HP

これまでの掲載記事一覧 <https://www.kanamaru-jp.com/yotei/yoteidetail.php?&no=1257&a=2024>



バックナンバー

★住生活総合産業雑誌「ハウジングトリビューン」(創樹社)

**Housing Tribune**  
住生活総合産業雑誌  
「ハウジングトリビューン」  
創樹社

2026年6月12日号 11号 (第2・第4金曜日発行)724号 726号

連続特集 <https://htonline.sohjusha.co.jp/>

隔週連載 79「金丸弘美レポート 田舎再生の現場から」

先進的な取り組みで地域活性化の兆しが芽生える現場を隔号で紹介。

「和歌山県田辺市「秋津野ガルテン② 直売所から始まった廃校再生

構想から開業まで約5年の準備期間」

1953年に建設された旧秋津野小学校を改修し、2008年に開業した。現在は宿泊施設、農家レストラン、体験教室、会議室、サテライトオフィスなどを備えた複合施設として運営されている。開業から18年目を迎え、今も地域の交流拠点として機能している。情緒豊かな空間と、地域の食が人気を博している。



バックナンバー掲載写真紹介

<https://htonline.sohjusha.co.jp/rensai/kanamaru-report/>

★「社会教育」(一般財団法人日本青年館「社会教育」編集部)

6月号 巻頭言「今月のことば」「食を通じた繋がり創り」

「食を活かした地域ブランディング・食育」の実践として各地で「食のワークショップ」を行ってきました。



★「エネルギーから経済を考えるネットワーク会議」月刊メルマガ5月号

<https://enekei.jp/mmz/mailmagavol256.html>

●【連載 30】金丸弘美氏 農業・食・エネルギーの現場から  
～全自治体での「地域力創造」を推進～

① テーマは「地域力創造」 <https://x.gd/YzwmO>

② 市町村合併の推進状況について [https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000273900.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000273900.pdf)



①総務省「地域力創造」



②市町村学研の推進状況・総務省

令和8(2026)年4月22日に、総務省「地域力創造関連施策等についての説明会」が、全自治体・総務省関係者向けに実施された。5項目17事項。

この背景には、2014年(平成26年)9月3日に閣議決定された「地方創生(ちほうそうせい)」がある。東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げることを目的としたものだ。止まらない人口の東京一極集中と地方からの若者の流失本の総人口は2008年(約1億2808万人)をピークに、2011年以降減少が続いている。

高齢化も進み、総人口に占める65歳以上の割合が約29%。2050年には40%を超えるとされる。地方では、若い人の流失が多くあり、東京への一極集中が止まらない。

詳細はコチラからお読みください <https://enekei.jp/mmc/mailmagavol258-2.html>



メールマガジン



バックナンバー

この記事は「エネルギーから経済を考えるネットワーク会議」メールマガジンより配信。

<https://x.gd/zYVqf>

「エネルギーから経済を考えるネットワーク会議」の最新4月号が配信

<https://enekei.jp/mmz/mailmagavol257.html>

埼玉県小川町「道の駅おがわ」手漉き和紙と有機農業の町



農業と食の現場で活躍する女性を紹介。●金丸弘美のニッポンはおいしい！

★WEB Women's Action Network(上野千鶴子理事長・社会学者・東大名誉教授)より配信。

連載36「静岡市・萩錦酒造——酒を醸すことは、文化を育てること」萩原綾乃さん

静岡市の中心部から少し離れた住宅地に、静かにたたずむ老舗酒蔵がある。

明治9年創業、140年以上の歴史をもつ萩錦酒造。

<https://wan.or.jp/article/show/12448>



連載35 古民家をひらき、畑を耕し、人がつながる

千葉県長生郡一宮町ミナモトファーム 齋藤絢子さん

<https://wan.or.jp/article/show/12391>



連載 34 都市に牧場があるという未来「牧場の価値を社会につなぎ直す」

東京都八王子「磯沼牧場」磯沼杏さん

<https://wan.or.jp/article/show/12327>



●連載 36回 番外編が10本配信されています。 <https://x.gd/CckPR>



👉バックナンバー

**ウィメンズアクションネットワーク Women's Action Network**



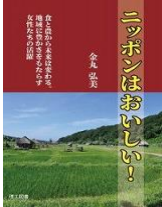
フェミニズムを伝える・学ぶ・つながるサイト

国連は2026年を「国際女性農業従事者年」と定めています

●WAMの連載が本になりました！ 農業と食から地域をつくる女性活躍を紹介しています。  
「ニッポンはおいしい！」食と農から未来は変わる。域に豊さをもたらす女性たちの活躍

金丸弘美著（理工図書出版） ISBN978-4-8446-0965-0 定価:2,090円（税込）

「月刊ガバナンス」「クーヨン」「旅行新聞」「月刊JA」「西日本新聞」「農業共済新聞」「食料新聞」「週刊金曜日」  
「ハウジングトリビューン」【実践自治 Beacon Authority】「中小企業家しんぶん」「月刊学校給食」「地域づくり」  
「味の味」「月刊NOSAI」「月刊社会民主」「社会新報」「しんぶん赤旗」「潮」など39媒体で紹介。



<https://x.gd/8EnE3>

農業と食から持続社会に繋がる活動をしている女性が登場します。  
農業書で女性がメインの実践現場レポートの本は、おそらく初めてでしょう。  
どの事例もドラマチックで、発想と行動力が、素晴らしいです。ぜひ読んでください。

上野千鶴子さん推薦（社会学者・東大名誉教授） 女性がつくる日本農業の未来！



◎消費者との接点を見出した新たな食と農 愛知県名古屋市：オーガニック朝市・吉野隆子さん/福岡県宗像市：道の駅むなかた「漁師直行超鮮度の魚がならぶ」伊藤美幸さん◎食と農と体験を離島や農村の観光に繋ぐ山口県周防大島町瀬戸内ジャムズガーデン松嶋智明さん/兵庫県西宮市：Table a Cloth 「おいしい食体験ができる宿」岡田奈穂子さん◎海外からの視点と連携を生み出した新たな挑戦 埼玉県秩父市：秩父蒸溜所・ブランドアンバサダー吉川由美さん/千葉県いすみ市：高秀牧場「ジェラート店とチーズ工房運営」馬上温香さん ◎持続社会と地域経済に繋ぐ農業 静岡県菊川市：野菜くらぶ「ゼロから農業開始30haの大規模農家へ！塚本佳子さん/神奈川県寒川町：(株)菱和園・お茶が大好き！お茶のよさを届けたい」山田仁子さん◎地域の食と環境の豊さを人々に繋ぐ 山形県米沢市：野菜農園笑伝 EDEN 子供の明るい未来を創る農業をしたい我妻飛鳥さん/リベラルファーム米沢ブランド米沢牛を支えるお母さん鈴木純子さん◎都市の農業での新たな挑戦 埼玉県さいたま市・さいたまヨーロッパ野菜研究会福田裕子さん/東京都日野市：株式会社ネイバースファーム・都市農業の魅力を広げていきたい 梅村桂さん

★ 食とブランドとに繋ぐ食のワークショップ 最新レポート

食材の履歴・特徴を明確化し料理を参加型で創りレシピから食べ方までを提案し食育とブランド化と地域連携事業に手掛るもの。鳥取県倉吉市で開催。2026年3月は酒粕をメインで開催。令和7年度倉吉プロジェクト 倉吉の魅力発見事業 食のワークショップ 実施報告書

- 「長芋と猪(ジビエ)」<https://x.gd/QyOIp>
- 「スイカ」<https://x.gd/3rE7R>
- 「梨と和牛」<https://x.gd/aVSQ7>
- 「さつま芋、酒粕、米粉」<https://x.gd/syvDB>

四季に合わせ20種類近くの料理が誕生しました。レシピも公開されています。

					
八宝とろろ	ねばりっこ羊羹	ねばりっこわさび丼	ねばりっこ干し柿きんとん		
					
スイカとココナツのゼリー	スイカ外郎	スイカのパートドフリユイ	スイカのグミ		
					
あきづき梨のタルト	あきづき梨のタルトタタン	あきづき梨のシフォンケーキ	あきづき梨のパウンドケーキ		
					
サツマイモの皮のかりんとう	スイートポテト	抹茶団子	マクケンチーズ		

○「ガストロノミー食文化」<https://x.gd/Vqb3v>

各地で手掛けてきた食のワークショップとブランド化事業・農村観光。イタリアで学んだスローフードの「味覚ワークショップ」と食文化ガストロノミー、「アグリツーリズム(農業観光)」の持続経済を創る仕組み。地域活力を創造する活動を紹介。そして倉吉市のワークショップ。<https://x.gd/6e7af>

			
---	---	--	---

●金丸弘美の好評の食・農業・食育・環境からの地域づくりの本●

■「地域の食をブランドにする！ 食のテキストを作ろう」(岩波ブックレット)

■「創造的な食育ワークショップ」金丸弘美著 (岩波書店)表紙・矢吹申彦

■「里山産業論 「食の戦略」が六次産業を超える」(角川新書)<https://x.gd/gU7Fu>

「食育のワークショップ」の計画立案から具体的な進行の仕方、食材のテキストやワークシートの作り方、目的別の事例を紹介。食育が地域の特産品作りと町の個性を生む。食をテーマにした町おこしやブランド作りを紹介。総務省で注目され「地方創生」のモデルとなった一冊。国内各地の具体的な活動と実践を紹介。



■「田舎力 ヒト・夢・カネが集まる5つの法則」NHK 生活人新書

■「実践！ 田舎力 小さくても経済が回る5つの方法」(NHK 新書)<https://x.gd/aWANr>

■「ゆらしい島のスローライフ」(学研教育出版)



●金丸弘美の映画の本 絵・平野恵理子

■「こんなSCENEで贈り物」(福武書店)

■「こんなシーンでウェディングベル」(ベネッセコーポレーション)

■「プレゼントの小さな焼き菓子」エッセイ収録(学研教育出版)



●著作38冊、企画・編集・共著作に33冊があります。



👉 金丸弘美書籍一覧 <https://x.gd/Mybjk>

●食と農業と地域資源を生かしたまちづくりユーチューブ配信中  
料理家・馬場香織さんと手掛けた食のワークショップも紹介しています。



<https://www.youtube.com/watch?v=-PNJgv5pfU0&t=128s>

○アグリツーリズム(農業観光)関連資料 <https://x.gd/BoTfV>



<https://x.gd/w7qdCn>



和歌山県田辺市は若い世代の人材育成・起業支援「たなべ未来創造塾」を創設。塾は10年目。9期108名の修了生から、75件の新規ビジネスと、30件の第2創業が生まれた。

●長男・金丸知弘は、家族で和歌山県田辺市龍神村へ移住。本も出版しました。  
「たなべ未来創造塾」の1期生です。

「子育て世代の快適移住マニュアル」金丸知弘著(誠文堂新光社)

<https://www.kanamaru-jp.com/book/bookdetail.php?no=212&a=1>



「わかやま life」

●YouTube 配信「初めての農家民泊 岐阜県 佐伯農場 ～ニッポンは美味しい 金丸弘美氏に聞く～」  
<https://youtu.be/DG8rw3nl6uc> 制作配信:京都市宇治市「うじテレビ」(ディレクター森田誠二さん)



▶ YouTube <https://x.gd/MI627>

## 雑誌特集

- <対談> 住総合雑誌「ハウジングトリビューン」2024年17号 9月13日発売号  
 イタリアのアグリツーリズムに学ぶ 都市と農村の交流人口拡大、地域経済活性化策  
 食環境ジャーナリスト 金丸 弘美 氏×食・農文化コミュニケーション 岡崎 啓子 氏
- 住総合雑誌「ハウジングトリビューン」2024年19号 10月11日発売号  
 インタビュー特集「地域活性化の成功事例に学ぶ」金丸弘美
- 自治体向けの雑誌【実践自治 Beacon Authority】(イマジン出版)100号記念号(12月25日)  
 「これからの自治体と地方創生」をテーマに6ページを組んでいただきました。

<https://www.imagine-j.co.jp/beacon.html>



●一般財団法人 地域活性化センター <https://www.jcrd.jp/>

財団は総務省・全国自治体連携「地方創生」推進活動をてがけています。実績活動連携のフェロー制度がありシニアフェローを拝命しています。 <https://www.jcrd.jp/about/cat5350/>  
 これまでセミナー、シンポジウム、執筆活動などを手掛けさせていただいています。



40周年記念配信。

[https://www.youtube.com/watch?v=8Df0\\_oiC8tU](https://www.youtube.com/watch?v=8Df0_oiC8tU)

## ●「地方創生」を支援する国の人材派遣事業。

国の人材派遣事業:金丸弘美は登録されており、国の制度で現地にうかがうことができます。

★総務省より令和8年も「総務省地域力アドバイザー」として引き続き登録しますと

連絡がありました。地域活動をサポートする国の人材派遣事業です。

市町村より要請があれば年間10日以上最長3年間、国の事業として現地に伺うことができます。総務省地域力創造アドバイザーは、市町村が地域の魅力や価値を高めるために、地域活性化に関する専門知識やノウハウを持つ外部専門家を招へいし、指導・助言を受けるための制度です。「地方創生法」に連動するものです。

### 総務省登録の金丸弘美の実績と経歴

「地域の食のブランド化とワークショップによるプロモーション事業」

<https://www.soumu.go.jp/ganbaru/jinzai/>

制度内容です。 [https://www.soumu.go.jp/main\\_content/001052709.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/001052709.pdf)



金丸弘美実績と経歴



総務省の人材派遣制度内容

招へいにかかる経費は、いったん市町村で予算措置をしますが、費用は特別交付税措置として国から受けられます。1市町村あたり年間610万円です。

これまで地域の食とワークショップ、テキスト化、メディア発信、プロモーション事業を手掛け、書籍化にも繋ぐ活動が高く評価されて登録されているものです。

食・農業・環境・地域づくりをテーマに取材とノウハウ連携事業を手掛けています。

★金丸弘美は内閣府の人材派遣事業にも登録されています。

地域の活性化に向け意欲的な取組を行おうとする地域に対して、地域おこしの専門家(地域活性化伝道師)を紹介し指導・助言を行う。

●内閣官房の伝道師派遣制度 内閣官房地域活性化伝道師 地方創生のサポート。

<https://www.chisou.go.jp/tiiki/dendoushi/index.html>



👉内閣府



👉プロフィール